

6年越しに超おいしいブドウが収穫できました。

大正組 田中 嗣夫

もう20年以上前のことです。大阪にいた頃、近所の小さなスーパーでおいしそうなブドウを買いました。口に入れると皮がつるっと剥けて甘酸っぱい果汁が口いっぱいに広がりました。デラウェア以上に甘く、大きさは巨峰以上です。あまりのおいしさに何回も購入しました。ところが翌年、一向に店頭に残りません。他の店にもありません。こんなにおいしいものがなぜ売られていないのか不思議でなりませんでした。

6年前、味間奥に帰ってきて、ふと、あのブドウのことを思い出して、記憶を頼りにネットで調べてみると「紅伊豆」という品種らしいことが分かりました。この品種は粒割れや脱粒しやすく均一な房に仕上げるのが難しいため流通経路には乗らず、ブドウ狩りやネット通販でしか入手できないようです。

それならばと、苗を購入して植えてみました。最初は台風や害虫の被害にあったり、実がついても全部腐ってしまったりではぼ諦めていました。ところが今年なんと60房以上のつぼみが付きましました。今度こそはと慎重に摘蕾、種無し処理、摘果、袋かけ等を行ったところ見事に成熟しました。口に入れてみるとまさしく20年以上前のあの味です。巨峰やピオーネなんか目ではありません。この夏は超おいしいブドウを毎日好きなだけ食べられて大満足でした。

参考サイト <http://foodslink.jp/syokuzaihyakka/syun/fruit/budou-Beniizu.htm>

